

第二十八回

# 高槻明月能

仕舞  
胡蝶

片山九郎右衛門

狂言  
隠狸

野村萬斎

能  
土蜘蛛

入道之伝  
サ、カニ

片山九郎右衛門



撮影：政川慎治



2025 11.20 (木) 19:00開演(18:15開場) 高槻城公園芸術文化劇場 北館 中ホール  
一般 4,500円 高槻文化友の会 4,000円 友の会グリーン 3,500円 25才以下 1,000円 (全席指定) ※「友の会グリーン」は友の会会員で65才以上、20才以下、障がいのある方

| 発売日 | 高槻文化友の会 |         | ネット会員(登録無料) | 一般        | 便利な電子チケットサービスもございます |                            |
|-----|---------|---------|-------------|-----------|---------------------|----------------------------|
|     | Web     | 窓口・電話   | Web         | Web・窓口・電話 | 発売初日の受付開始           | Web・窓口 10:00~<br>電話 14:00~ |
|     | 8/6(水)  | 8/14(木) | 8/14(木)     | 8/20(水)   |                     |                            |

チケット販売場所 高槻城公園芸術文化劇場 南館1F 〒569-0077 高槻市野見町6-8  
TEL. 072-671-9999 (10:00~17:00/月曜休館 ※祝日の場合は翌日)

<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>

※未就学児の入場はご遠慮ください。※チケット完売の場合、当日券は販売しません。※団体割引(一般10枚以上)については、お問合せください。  
※車椅子席/補助犬の同伴をご希望の方は、窓口・電話にてお問合せください。

主催：(公財)高槻市文化スポーツ振興事業団

高槻明月能  
プレイベント

観世流能楽師シテ方 片山九郎右衛門さんによる  
能はゆかしい おもしろい

「高槻明月能」と同日発売

一般・高槻文化友の会 1,500円(全席指定)

2025 10.9 (木) 14:00開演(13:30開場) 高槻城公園芸術文化劇場 南館 サンキュレックホール



# 高槻明月能

とき 令和七年十一月二十日(木)午後七時開演  
ところ 高槻城公園芸術文化劇場 北館 中ホール

## 仕舞

## 胡蝶

片山九郎右衛門

## 狂言

## 隠狸

野村萬齋

## 能

頼光 分林道治  
トモ 浅井風矢  
胡蝶 橋本忠樹

片山九郎右衛門

## 土蜘蛛

入達之伝 福王知登  
サ、カニ 喜多雅人

間

野村裕基  
中村修一

大江広祐

後見 青木道喜

大江信行

大江広祐

大江信行

浦田保親

深野貴彦

野村 太郎

後見 中村修一

山本哲也 井上敬介

林 吉兵衛 森田保美

## 仕舞「胡蝶」

今年の高槻明月能は、人間でないもの、つまり、蝶や蜘蛛の精、動物が登場する曲が揃いました。古来、日本人は万物に神や精霊が宿ると考えていました。そういう思想が反映した能といえるかもしれません。仕舞「胡蝶」は、胡蝶の精が主人公の同名能の一部を、能楽師が能面や装束をつけず謡と舞のみで勤める奏演形式です。早春に咲く梅の花に縁のないことを嘆く胡蝶の精が仏の力で梅の花に出会い、喜びの舞を舞うというファンタジックな曲。観世流シテ方、片山九郎右衛門が可憐で気品に満ちた舞を見せてくれるでしょう。

## 狂言「隠狸」

「隠狸」に出てくる動物は「狸」です。といっても、生きている狸ではありません。大きな尻尾の狸のぬいぐるみが登場するユーモラスな作品です。主人に内緒で狸を捕っては市場で売ってもうけていた太郎冠者。噂を聞いた主人は太郎冠者に狸汁にする狸を買ってくるよう命じます。太郎冠者は昨夜捕った大狸を売ってしまったと、こっそりかついで市場に出かけると、そこにいたのは主人で——という展開です。狸を隠そうとする太郎冠者の慌てぶりや、主人と太郎冠者の虚々実々のやりとりも見どころで、「兎」「鶴飼」などの小舞も挿入され、笑いのなかに風趣が感じられる狂言です。野村萬齋の太郎冠者、野村太郎の主人という配役も新鮮です。

## 能「土蜘蛛 入達之伝 サ、カニ」

「土蜘蛛」は劇的でスベクタクルなおもしろさのある人気曲です。主人公(シテ)は恐ろしい土蜘蛛の精。病で臥せている源頼光の枕元に怪しげな僧が現れ、蜘蛛の糸を投げかけます。頼光は斬りつけますが僧は姿を消してしまいます。駆け付けた独武者は土蜘蛛退治のために葛城山に向かいます。すると塚の中から土蜘蛛の精が現れ、一行に無数の糸を投げかけ襲いかかるのです。土蜘蛛は大和朝廷に服属しなかった先住民を表しているといわれています。一方、頼光は平安時代の実在の武将で、鬼退治をしたことで有名です。本作の見どころはなんといっても、土蜘蛛の精が繰返し投げつける蜘蛛の糸でしょう。放物線を描く大量の白く細い糸は観客の目を奪います。今回は小書き(特殊演出)に「入達之伝」と「サ、カニ」がつきます。「入達之伝」は、頼光に斬られたシテが後見座に座り、追ってくる頼光をやり過しますが、今度は幕から走り込んだきた独武者と鉢合わせして——という演出です。「サ、カニ」は間狂言の小書きで、蟹の精に扮した狂言方二人の姿が愛らしく飄逸です。前シテの僧、後シテの土蜘蛛の精を片山九郎右衛門が勤め、頼光に分林道治、独武者に福王知登、胡蝶に橋本忠樹、間狂言を野村裕基と中村修一が勤めます。

※文中の敬称は略させていただきます。(文/亀岡典子)



高槻市健康ポイント  
対象事業です

関西から  
文化力  
POWER OF CULTURE



高槻城公園芸術文化劇場

〒569-0077 高槻市野見町6-8

- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)※別途臨時休館あり
- 駐車場 約150台(南館地下2階・有料)  
営業時間 7:00～23:00(年中無休)  
※駐車台数には限りがありますので、公共交通機関又は自転車等のご利用にご協力をお願いします。
- アクセス 阪急「高槻市」駅より徒歩約8分  
JR「高槻」駅より徒歩約13分

